

国民宿舎「鹿月荘」および鹿教湯健康センター「クアハウスかけゆ」の在り方に関する サウンディング型市場調査の結果について

1 調査の目的・概要

国民宿舎「鹿月荘」は、昭和33年に開設し、昭和63年に現在地に移転新築した。また、鹿教湯健康センター「クアハウスかけゆ」は、昭和58年に開設し、昭和61年にプールを建設した。

両施設は自然環境に優れた鹿教湯温泉において、市民の保養と健康の増進に寄与し、併せて観光客にも利用いただくことで、国民保養温泉地の中心的な役割を担ってきており、施設の利用者は、平成3年度にそれぞれ約29,000人と約33,000人の利用者があった。

しかし、旅客ニーズの変化等により年々利用者は減少し、利用料収入も減少したことで、指定管理料は年々増加傾向にあり、施設の在り方について検討してきた。

このことから、民間事業者の有する柔軟なアイデア等を活用し、対象施設の今後の利活用に関する可能性を探り、併せて施設の在り方等の検討を進めることを目的として「サウンディング型市場調査」を実施した。

2 スケジュール

実施方針の公表	令和5年4月24日(月)
現地見学会・説明会の参加申込期限	令和5年5月24日(水)
現地見学会・説明会の開催日	令和5年5月31日(水)
質問事項の受付期限	令和5年6月14日(水)
質問事項の回答	令和5年6月23日(金)以降
サウンディングの参加申込期限	令和5年6月30日(金)
サウンディングの実施	令和5年7月11日(火)、7月26日(水)
実施結果概要の公表	令和5年8月23日(水)以降

3 参加者事業者

- ・現地見学会・説明会 2事業者
- ・サウンディング 2事業者

4 意見・提案

項目	【既存施設を利活用する場合】	【既存施設を利活用しない場合】
	概要	概要
施設の活用方針	(鹿月荘) ・職員及び実習生の寮として活用 ・現宿泊事業に加え、障がい者雇用、地産地消、地域交流などの複合的なメリットのある施設 ・宿泊付きセミナー施設として活用(クアハウス) ・患者のリハビリ施設として活用 ・多目的スペースとして活用	・駐車場として活用
物件の活用の可能性	・現状のまま活用。 ・既存施設を活用し、障がい者向けのバリアフリー化、人目につく部分などの最低限の改修	・建物は取り壊すため活用しない
事業規模及び手法	・今後検討 ・個人客に加え、養護学校等の団体客誘客により、将来的に指定管理料0円を目指す	・今後検討
事業実施に伴う地域貢献	・職員の勤務環境が整備され、また、実習生においても良好な環境下で実習を行うことが出来、その後の採用にも繋げられ、また、職員が地域に定着することで、地域活性化にも繋がる ・障がい者の雇用促進 ・養護学校向けの体験プログラムを通じての地域住民との交流 ・地域関連施設の活用 ・提供サービスを通じての地産地消の推進	・職員及び利用者の利便性向上
事業実施における課題等	・施設の維持管理(費用、運営等) ・施設の維持管理(費用、修繕、改修運営等)	

5 サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、参加された事業者様から貴重かつ多様なご意見・アイデアを頂きました。今回の結果を踏まえて、令和7年度以降の施設の在り方について、協議・検討して参ります。